

学校名

長野県諏訪実業高等学校

平成 29 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

—「文化ビジネスエキスパート」育成プロジェクト—

地域の魅力や日本の感性をビジネスにつなげ、世界に発信し地域を創造する人材育成プログラムの研究

2. 研究の目的

「文化ビジネス」は、伝統的文化や伝統的産業の「価値」を再発見し、文化的要素とビジネス的要素のバランスをとりながら、現代社会に受け入れられる商品・サービス・企画等にして、ビジネスとして成立させることである。諏訪地方は、御柱をはじめとする伝統的文化が数多くあり、古くから観光地として発展してきた。また、精密機械等をはじめとする高い技術力や伝統的手法をもつ産業も多い。しかし、現在は観光産業にも陰りが見え、中小企業が多い伝統的産業も衰退が懸念されている。そこで、「文化ビジネス」の手法により、主体的に地域の課題を発見し、地域と協働して解決に取り組み、グローバルに発信することができる「文化ビジネスエキスパート」としての資質・能力を伸ばさせることにより、地域に貢献し、地域を創造する人材を育成することを目的とする。

【「文化ビジネスエキスパート」に求められる資質・能力】

・「文化ビジネスコーディネーター」

商業と服飾の知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解し、伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける具体的な方策を提案できる。

・「文化ビジネスディベロッパー」

商業と服飾の知識と技術を備え、ビジネスと生活産業の視点から、地域の伝統的文化や伝統的産業のもつさまざまな「価値」を取り入れた商品・サービス・企画等を開発し、新たなビジネスを創造し提供することができる。

・「文化ビジネスプロデューサー」

商業と服飾の知識と技術を備え、少子高齢化やグローバル化などをはじめとする地域の課題の解決に向けて、コミュニケーション力を活かしコンセプトを提案し、地域産業や地域社会と協働して、主体的に取り組むことができる。

3. 実施期間

契約日から平成 30 年 3 月 15 日まで

4. 当該年度における実施計画

(1) 「文化ビジネス」と伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解（1年）

諏訪地域を中心とした伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解するため、商業科・会計情報科の原則履修科目である「ビジネス基礎」と服飾科の専門科目である「生活産業基礎」、共通教科地理歴史科の科目である「地理A」に、新たな項目として「伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解」を追加する。商業科・会計情報科の生徒は、産業界の強みと伝統的文化の価値を理解することで、商品開発やマーケティングの知識・技術が深化し、服飾科の生徒は、ビジネスと伝統的文化の価値を理解し、デザインの感性だけでなくビジネスとして成立する被服製作を行うことで、商品の価値を高める創造力が深化する。

① 諏訪地域を中心とした伝統的文化や伝統的産業に関わる産業人や文化人に、文化や産業の現状・取り組みについて講義を受け、伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解する。（「ビジネス基礎」「生活産業基礎」「地理A」で対応）

ア 諏訪地方の文化と商品についての現状を学ぶ。（1時間×2回）

講義「諏訪の文化と商品開発」 講師 スワデザイナーズユニオン 平林善雄氏

イ 諏訪の伝統文化を学ぶ。（1時間×2回）

講義「諏訪の信仰と諏訪大祭 御柱の歴史」 講師 八剣神社 宮司 宮坂清氏

ウ 諏訪地方の心を学ぶ。（2時間）

講義「諏訪伝統のおもてなし」 講師 RAKO華乃井ホテル 社長 白鳥和美氏

エ 地域商品の開発を学ぶ。（2時間）

講義「地域商品の開発」 講師 松本大学 白戸 洋氏

② 先駆的な取り組みである、京都の伝統文化と伝統産業の魅力に新たな付加価値を持たせた同志社大学大学院ビジネス研究科 村山裕三教授の「京都型ビジネス」について講義を受け、「文化ビジネス」の取り組み方法を学ぶ。（地理Aで対応）

- ・ 副教材として、村山裕三教授著『京都型ビジネス 独創と継続の経営術』を使用し、諏訪地方の伝統的文化や伝統的産業のから文化的要素とビジネス的要素のバランスをとりながら「文化ビジネス」を構築する手法についての知識の深化を図る。

③ 本校主催の「諏訪実ミニメッセ」を開催し、地元企業を20数社に参加を依頼し、地域産業の強みと新たな取り組みについて製品展示と説明を受け、製品製作等の体験を行い、地域産業の理解を深める。（「ビジネス基礎」「生活産業基礎」で対応）

(2) 「文化ビジネス」への取り組み（2年）

① 学校設定教科「文化ビジネス」学校設定科目「文化ビジネス研究」

平成29年度入学生の教育課程の2年次に学校設定教科「文化ビジネス」の学校設定科目「文化ビジネス研究」（2単位）を設置する。学校設定教科「文化ビジネス」は、商業科と会計情報科と服飾科の共通履修とし、1年次に学習した「伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解」と同志社

大学大学院村山裕三教授から学んだ「文化ビジネス」の取り組み方法の知識を活かし、「文化ビジネスエキスパート」として、諏訪の伝統的文化や伝統的産業から現代社会に受け入れられる商品・サービス・企画等を「文化ビジネス」として開発・提供し、発信することを目指す。学校設定科目「文化ビジネス研究」内の講座は、専門性の深化を図りながら「文化ビジネス」に取り組む講座として、商業科の専門科目「商品開発」、会計情報科の専門科目「ビジネス情報」、服飾科の専門科目「生活産業基礎」と関連づけた講座と、商業科・会計情報科・服飾科の専門性を合わせて新たな「文化ビジネス」に取り組む基本講座を設置する。

ア 学校設定教科「文化ビジネス」学校設定科目「文化ビジネス研究」の目標と資質・能力

【目標】

「文化ビジネスエキスパート」として、伝統的文化の「感性」としての価値や伝統的産業の強みを理解し、少子化やグローバル化などにもなう課題を主体的に発見し、伝統的産業や地域社会の振興に協働的に取り組み、文化的要素とビジネス的要素のバランスをとりながら「文化ビジネス」として発信できる力を育成する。

【資質・能力】

- (ア) 商業と服飾の知識と技術を備え、諏訪や長野県内各地の伝統的文化や伝統的産業の魅力を深く理解し、伝統的文化や伝統的産業の魅力や強みを結びつける具体的な方策を提案できる。
- (イ) 商業と服飾の知識と技術を備え、ビジネスと生活産業の視点から、地域の伝統的文化や伝統的産業の「感性」としての価値を取り入れた商品・サービス・企画等を開発し、新たなビジネスを創造し提供することができる。
- (ウ) 商業と服飾の知識と技術を備え、少子高齢化やグローバル化などをはじめとする地域の課題解決に向けて、コミュニケーション力を活かし、コンセプトを提案し、地域産業や地域社会と協働して、地域の再構築に主体的に取り組むことができる。

イ 学校設定教科「文化ビジネス」設置後の基本講座（平成30年度以降）

学校設定科目「文化ビジネス研究」には両科の専門性の深化を目的とする講座の他に、新たな「文化ビジネス」に取り組む基本講座として、以下の講座を設置する。

【予定講座1】 「商品開発とイベント企画」

実施内容

地域の産業界や団体と連携し、地域の歴史や現状の把握から地域の魅力を発信できる商品・イベントの企画開発を行い、地域はもとより国内外に発信することで、地域文化を活かしたビジネスを開発できる人材を育成する。

- (ア) 新商品の企画立案の方法を学ぶ。
講義 「アイデアの出し方」 講師 株式会社プラグ社長 小川亮氏
- (イ) 商品に付加価値を付けられる商品パッケージのデザインを学ぶ。
講義 「付加価値を付けられるパッケージデザインとは」
講師 有限会社クローバーデザイン 日野直也氏
- (ウ) 上諏訪駅前商店街と地域産業が連携した実践を学ぶ。
講義 「地域産業の地域を巻き込んだ取組」

講師 宮坂醸造株式会社 宮坂公子氏

【予定講座 2】 「財務諸表からみる企業経営」

実施内容

企業の財務諸表から経営状況を把握し、経営方針や資金運用、設備投資を含めて経営のあり方を研究する。これによって、模擬株式会社「S Jカンパニー」の経営を財政面から見直すとともに、「文化ビジネス」の経営を財政面から検討できる人材を育成する。

- (ア) 講義 「企業の財務諸表の見方」 講師 柳澤会計事務所 両角美千代氏
- (イ) 模擬株式会社の経営に関わる検証を行う。
- (ウ) 地元企業の財務諸表から経営を考える

【予定講座 3】 「ICTを活用したプロモーション戦略」

実施内容

「伝統的文化」「地域産業」「地域の観光地」をコンテンツとして紹介するホームページを作成し、「文化ビジネス」の情報を効果的に発信できる人材を育成する。

- (ア) 諏訪市役所、商工会議所、観光協会と連携して、「文化ビジネス」として紹介できる「伝統的文化」「地域産業」「地域の観光地」を探し、ホームページに掲載する。
- (イ) Skype を利用し、韓国梅香女子情報高等学校と合同会議を持ち、韓国語のホームページも同時に立ち上げる。

【予定講座 4】 「伝統工芸と現代工芸」

実施内容

地域の伝統的文化や伝統的産業を把握し、それらの現状や今後の課題を理解することで、新しいビジネススタイルの創造、開発ができる人材を育成する。

- (ア) 地域の「伝統的文化」や「伝統的産業」を理解する。
- (イ) 地域の伝統的文化や伝統的産業の現状と立場についてフィールドワークにより調査、研究する。
- (ウ) 伝統を踏まえた商品・企画を立案し、伝統的文化を発信するための手段を考案する。

【予定講座 5】 「文化とサービス産業」

実施内容

衣装や生活スタイルの変化と歴史的な意義を把握することで伝統的文化を理解し、現代の生活様式を快適にするための伝統的文化の取り入れ方を提案し、新たなサービスのあり方を開発できる人材を育成する。

- (ア) 諏訪地域の生活文化と生活様式について学び、生活の変化について理解する。
- (イ) 諏訪地方の産業構造について学び、1次産業、2次産業、3次産業の動向や6次産業化の現状についてフィールドワークにより調査、理解する。
- (ウ) 地域の伝統的文化や伝統芸能を調査し、それを取り入れた企画を考案する。

② 学校設定科目開講前の対応（今年度）

本年度の2年生については、学校設定教科が履修できないため、①の講座内容の一部を、商業科、会計情報科、服飾科の各専門科目の指導内容に対応させ取り入れ、「文化ビジネス」に取り組む。

〈本年度実施科目と実施内容〉

ア 商業科と会計情報科

(ア)「商品開発」

- ・新商品の企画立案の方法を学ぶ

講義「アイデアの出し方」

講師 株式会社プラグ 小川亮氏

- ・商品に付加価値を付けられる商品パッケージのデザインを学ぶ

講義「付加価値を付けられるパッケージデザインとは」

講師 有限会社クローバーデザイン 日野直也氏

- ・上諏訪駅前商店街と地域産業が連携した実践を学ぶ

講義「地域産業の地域を巻き込んだ取り組み」

講師 宮坂醸造株式会社 宮坂公美氏

- ・地域の課題解決を解決するための手法について学ぶ

実習 コンサルタントの業務と課題解決の手法 野村総合研究所

- ・伝統的な産業であるシルクの活用

視察 岡谷蚕糸博物館

(イ)「財務会計Ⅰ」

- ・講義 「企業の財務諸表の見方」 講師 柳澤会計事務所 両角美千代氏

- ・模擬株式会社の経営に関わる検証をする。

- ・地元企業の財務諸表から経営を考える

(ウ)「ビジネス情報」

- ・諏訪市役所、商工会議所、観光協会と連携して、文化ビジネスと紹介できる「伝統的文化」「地域産業」「地域の観光地」を探し、ホームページに掲載する。

イ 服飾科

(ア)「生活産業基礎」

- ・諏訪地方の産業と観光の関わりについて学ぶ。

- ・諏訪地方の文化と商品についての現状を学ぶ。

- ・諏訪の伝統的文化を学ぶ。

- ・伝統的文化や伝統的産業という考え方を学び、地域の文化や産業を理解する。

視察 「駒ヶ根シルクミュージアム」「久保田織染工業」

(イ)「ファッション造形」

- ・演習「浴衣着付け講習会」 講師 着付師 古田南方美氏

(ウ)「CGデザイン」

- ・本校開発商品と地域産業、地域特産品、地域のイベントのポスターやロゴデザインを考案する。

③ 京都型文化ビジネス研修

1年次の、同志社大学大学院村山裕三教授の「京都型ビジネス」の講義をより深化させるために、商業科・会計情報科・服飾科の代表者が、同志社大学大学院をはじめとする京都視察研修を実施する。京都視察研修では、「京都型ビジネス」に実際に取り組んでいる産業人講師の講義、「文化ビジネス」の効率的な体験、「京都型ビジネス」の企業を視察する。視察後、講義内容と体験事

項、視察事項のプレゼンテーションを行い、学年全体で共有する。

④ 文化ビジネスコンペティション

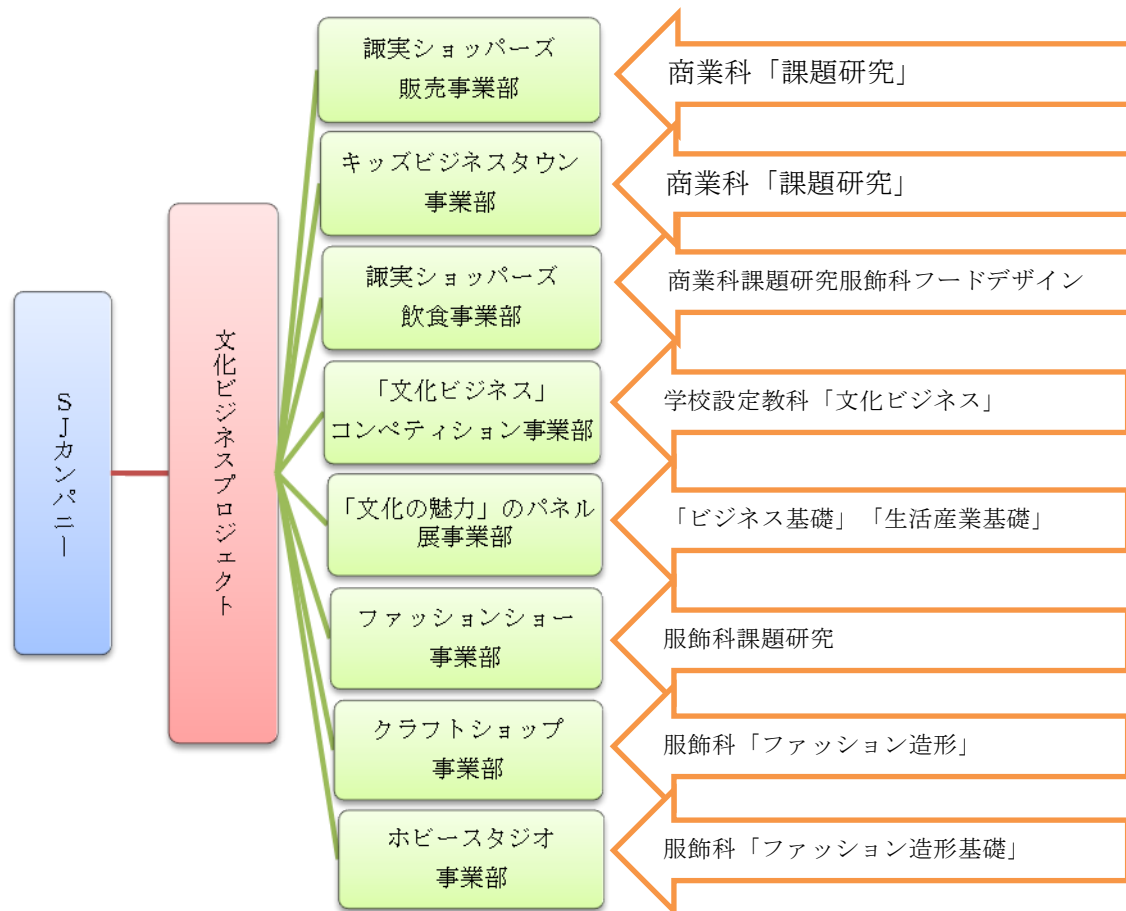
- ・(2) ②の専門科目の中で「文化ビジネスエキスパート」として「文化ビジネス」の商品・サービス・企画等の開発を行う。開発された具体的な商品・サービス・企画等は、(3) ①の「文化ビジネスプロジェクト」の文化ビジネスコンペティション事業部で、コンペティションを実施する。文化ビジネスコンペティションは諏訪商工会議所の協力を中心に、保護者等一般の方により、生徒の企画・商品・イベント等について実現の可能性を含めて評価する。評価が高く、実現可能なものは、3年次の課題研究等の科目内で、企業、自治体、地域と交渉を行い、実現に向けた取り組みを行う。

(3) 「文化ビジネスエキスパート」として、「文化ビジネス」のプロデュース（3年）

① 「文化ビジネスプロジェクト」の設立

3年次では、2年次に取り組んだ「文化ビジネス」の中で、評価が高く、実現可能な企画・商品・イベント等は、3年次の課題研究等の科目内で、実現に向けて、企業、自治体、地域と交渉して、実現に向け取り組みを行う。また、従来、商業科・会計情報科で取り組んでいた「模擬株式会社S Jカンパニー」を、本年度より服飾科を含めた新たな模擬株式会社とする。「模擬株式会社S Jカンパニー」の事業内容に「諏訪地方を中心とした、伝統的文化・伝統的産業の魅力を伝播することを目的とする」の一項を設け、図①のような会社組織を立ち上げる。各事業部は、今まで商業科・会計情報科で取り組んできた「諏実ショッピング」「キッズビジネスタウンすわ」、服飾科で取り組んできた「ファッションショー」も含め、商業科・会計情報科・服飾科の授業内容と対応させ、各授業で取り扱った「文化ビジネス」についての、販売、展示、コンペティション・プレゼンテーション等を行う。これまで別日開催をしてきた事業部について、本年度から可能なものは同一日開催とする。また、事業部は固定とせず、授業に対応した事業部を単年度ごと立ち上げる。

図① (S Jカンパニーの組織図)



② 韓国視察研修

「文化ビジネス」をグローバルに展開するため、本校生徒・職員による韓国梅香女子情報高等学校の視察および交流を行う。平成28年度に本校と梅香女子情報高等学校は姉妹校提携を結んでおり、距離や費用面からも密接な連携が可能である。伝統的文化が現代社会に色濃く残る韓国社会を体験し、文化と習慣の類似性と相違性の両面を肌で感じるにより、「文化ビジネス」を実践的に学ぶ機会とする。また、韓国は英語を母国語としない国であり、英語でのコミュニケーションの垣根も比較的 low、ビジネス英語によるコミュニケーション力の向上にも取り組む。梅香女子情報高等学校では、本校の商業科・服飾科の職員による日本・韓国の合同授業とホームステイを実施する。帰国後、体験・習得した事項を3学年全体で共有するため、プレゼンテーションを行うとともに、「文化ビジネスプロジェクト」の「誼実ショッパーズ」「キッズビジネスタウンすわ」「学習成果発表会」に応用をする。

③ 必修科目「コミュニケーション英語 I」を基礎科目として、英語のコミュニケーション能力の向上に努める。当該科目1年次学習の中で、生徒個々に目標設定を行わせて、個々の能力や目標に応じて、「全国商業高等学校協会英語検定2級、3級、4級」の取得を目指し、その中で Listening, Speaking, Reading, Writing の力を養成する。2年次「コミュニケーション英語 II」ではさらなるレベルアップを目指す。3年次には既存の学校設定科目である「イングリッシュアライヴ B」で様々なコミュニケーション活動を通じて、目標達成のために必要な能力の育成を図

る。

(4) 専門科目内での取り組み

「文化ビジネスプロジェクト」の各事業部の企画に対応するため、本年度は服飾科・商業科・会計情報科の専門科目内で以下の取り組みを行う。

ア「課題研究」服飾科

ファッションショーや学習成果発表会における効果的な演出力の向上を目指す

- ・演習「ウォーキング講習会」 講師 beウォーキングスタジオ 齋藤義人氏

イ「ファッションデザイン」

伝統価値や地域の文化産業をソースにデザインする力の向上を目指す

- ・演習「色彩検定対策講座」 講師 AFT認定講師 河合由夏氏
- ・視察 岡学園トータルデザインアカデミー学生制作作品展見学
- ・視察 「NAGANOデザインフェスタ」

ウ「ファッション造形」

地域の伝統的な産業や文化の魅力を発信する活動を考える。

- ・視察 岡学園トータルデザインアカデミー学生制作作品展見学
- ・視察 「NAGANOデザインフェスタ」

エ「マーケティング」

(ア) 諏訪のご当地ジェラートを通じた情報発信

・諏訪の伝統的な産業や食文化、特産品をテーマとしたジェラートを通じて諏訪の産業や食文化、魅力について発信する。

・講義「ジェラートを通じた情報発信の方法」 講師 ジェラテリア六花 今井正樹氏

・実習 伊勢丹立川店で、販売実習と諏訪の食文化の情報発信を行う。(販売・情報発信)

・実習 東京国際展示場でビジネスにおける交渉と販売実演を行う。(健康産業展示即売会)

(イ) 中山道下諏訪宿を題材としたプロモーション活動

・行政や地元企業と連携し、中山道下諏訪宿の歴史と文化を発信し、観光客の集客と顧客満足度を向上させるための方策について考える。

・講義「下諏訪宿活性化に向けた取り組み」 講師 株式会社下諏訪倉庫 三井章義氏

・実習 下諏訪宿の集客提案 講師 下諏訪観光協会 河西正一氏

講師 有限会社六花フードサービス 増澤研一氏

(ウ) 地域の特性を活かしたマーケティング戦略

・講義「地域の特性を活かしたマーケティング戦略」

・実習 ビジネスにおける交渉と販売実演 講師 スワデザーナーズユニオン 平林善雄氏

オ「電子商取引」

(ア) 情報通信ネットワークを活用した情報発信

・諏訪や長野県内各地の伝統文化や伝統産業、またその魅力について調査し、深く理解させ、ホームページの作成を通じて広く発信する。

・実習 ホームページの作成、公開

(イ) ウェブコンテンツを活用した観光・文化プロモーション

・諏訪地域の公知されていない観光地や文化等について、観光客やホームページの閲覧者に対

して諏訪の魅力を発信するコンテンツを作成する。

実習 ウェブコンテンツの作成

(ウ) オンラインショッピングの活用による地域商品プロモーション

- ・地域特産品、本校開発商品などを題材に、電子商取引の仕組みや活用に関する学びを通じて、インターネットを利用した商品のプロモーションを行うことのできる人材を育成する。
- ・講義 「電子商取引における効果的な宣伝広告の方法」

株式会社スドージャム 地域ブランド推進 米山聡 氏

カ「課題研究」商業科・会計情報科

- ・諏実タウンにおける接客効果の向上を目指す。
- ・講義「地域特性の紹介方法とホスピタリティ」

しなの鉄道「ろくもん」客室乗務員 横川京子氏

(5) 教員の専門性の強化

- ・商業科・会計情報科と服飾科の教員の専門性の向上を図るため、連携先の松本大学での「マーケティング塾」に商業科・会計情報科・服飾科の複数の教員が参加し、同志社大学大学院の講義、京都型ビジネスの視察を商業科・会計情報科・服飾科の複数の教員で実施し、生徒の能力開発を相乗的に伸ばさせる。
- ・本事業推進のために有効性のあるパフォーマンス評価を本校の教員が作成する能力を、より深化させるために、京都大学大学院教育学研究科福嶋祐貴氏の講義を引き続き実施する。

(6) S P Hプログラムにおける評価方法

- ・講演等の実施前と実施後にアンケートを実施し、生徒の思考の変化等から事業の効果を測定する。
(定性的評価)
- ・広く一般に公開する「文化ビジネスプロジェクト」において、外部関係者にアンケートを実施し、生徒の意識の変化等から事業の効果を測定する。(定性的評価)
- ・本事業を各教科の項目として扱うため、定性的評価だけではなく、パフォーマンス評価とポートフォリオ評価を導入する。パフォーマンス課題を設定できる事業についてはパフォーマンス評価を取り入れ、本事業に合致した評価項目の策定を進めていく。同一学年は、定量的評価が平均するよう評価項目を策定する。パフォーマンス評価実施後、担当教員内で評価項目について再検討する。評価項目の再検討をする事により、各事業の細部まで具体的・徹底的に見直し、事業内容をデザインし直していくことで、P D C Aサイクルによるカリキュラムマネジメントを行う。
(定量的評価)

(7) 研究成果の普及

県教育委員会主催の研修会、諏訪実業高等学校で開催する研究成果発表会、その他に全国規模での研修会、北信越地区での研究大会等において、取組の成果を発表し、研究成果の普及に努める。

5. 実施体制

(1) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
薄井 康央	校長	全体統括・対外連絡・折衝
河野 健一	教頭	対外連絡・折衝・委員会設置運営・高大連携・海外高校連携担当
小平 紀文	教諭	諏実ショッピング運営・商品開発・高大連携・海外高校連携担当・商業
三宅 浩一	教諭	諏実ショッピング運営・京都研修・文化ビジネス発表会担当・商業
吉岡 和久	教諭 (商業科主任)	キッズビジネスタウンすわ運営・商品開発・学校設定教科・SPH通信担当・商業
中澤 深二	教諭	諏実ショッピング運営・諏訪実ミニメッセ・文化ビジネス発表会担当・商業
藤森 宏史	教諭	諏実ショッピング運営・学校設定教科・諏訪実ミニメッセ担当・商業
小口祐希枝	教諭	キッズビジネスタウンすわ運営・企業連携・海外高校連携担当・商業
中野 篤男	教諭	諏実ショッピング設立運営・企業連携・商品開発・学習評価担当・商業
浅見 大輔	教諭	キッズビジネスタウンすわ運営・高大連携・ビジネスプレゼンテーション担当・商業
松田 健一	教諭	諏実ショッピング運営・京都研修・文化ビジネス発表会担当・商業
池上 哲	講師	諏実ショッピング運営・ビジネスプレゼンテーション担当・商業
倉田 愛美	講師	諏実ショッピング運営・文化ビジネス講演会担当・商業
目須田威彦	講師	諏実ショッピング運営・学校設定教科担当・商業
井上 貴子	実習助手	諏実ショッピング運営・企業連携・商品開発担当・商業
五味 仁美	教諭 (服飾科主任)	諏訪市ものづくり教育・「ともそだち教室」・学校設定教科担当・ファッションショー・クラフトスタジオ・家庭
横井秀太郎	教諭	ファッションショー・NAGANOデザインフェスタ担当・家庭
山田 佐江	教諭	学校設定教科・ファッションショー・家庭
小川 淳子	教諭	ファッションショー・ファッションデザインコンクール・会計担当・家庭
唐澤美沙紀	教諭	学校設定教科・ファッションショー・クラフトスタジオ・ファッションデザインコンクール担当・家庭
有賀 弘子	講師	学校設定教科・ファッションショー・家庭

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割・専門分野等
大舘 道彦	諏訪市経済部長	指導・助言
小口 武男	高島産業(株)代表取締役社長	指導・助言
村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究科教授	指導・助言
白戸 洋	松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科教授	指導・助言
奥原 正夫	諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科教授	指導・助言
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー校長	指導・助言
薄井 康央	諏訪実業高等学校長	全体統括
河野 健一	諏訪実業高等学校教頭	対外折衝・校内調整
吉岡 和久	諏訪実業高等学校教諭 (SPH推進主任)	対外折衝・校内調整
五味 仁美	諏訪実業高等学校教諭 (服飾科主任)	服飾科教育課程
奥村 達朗	諏訪実業高等学校教諭 (学習係・教育課程委員)	普通教科代表・普通教科の調整

(3) 運営指導委員会

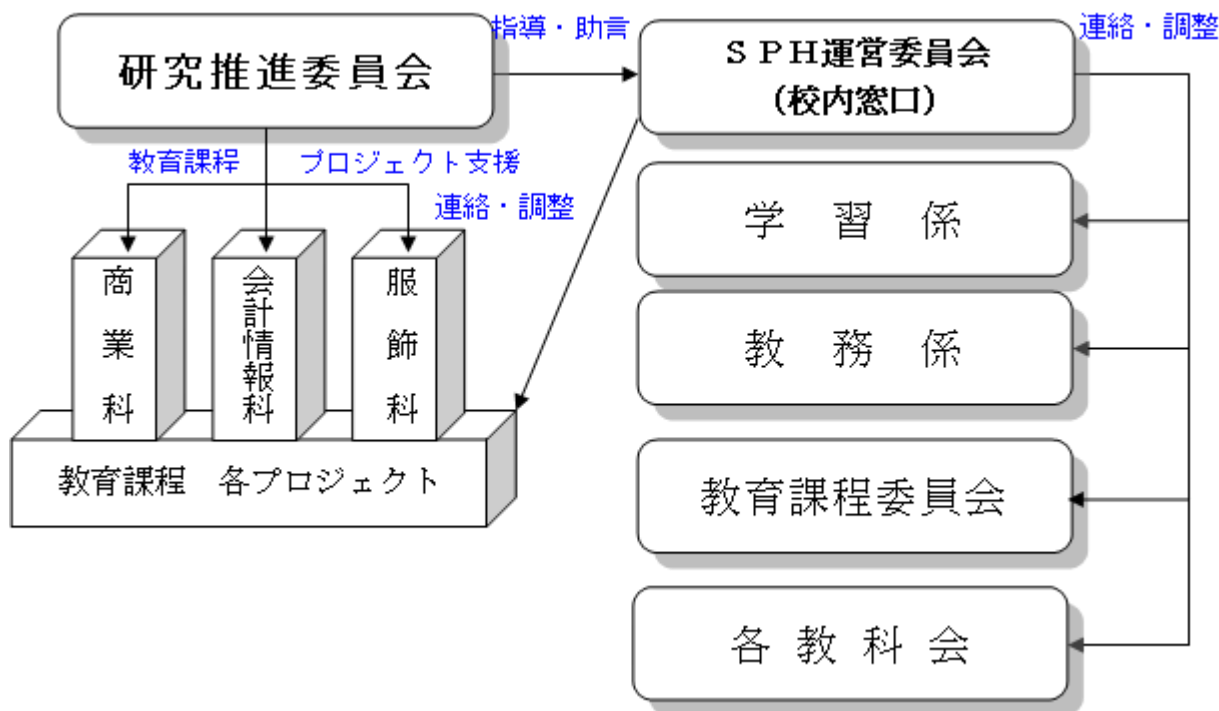
氏名	職名	役割分担・専門分野等
山浦 悦子	ハイブリッド・ジャパン株式会社 代表取締役	地域産業・ものづくり経営に係る指導・助言
藤田 智之	信州大学 農学部長	農業、工業、商業分野の研究設定の在り方、農学研究
山添 昌彦	松本大学松商短期大学部副学長・松商短期大学部長・教授	農業、工業、商業分野の研究設定の在り方、経営学、地域学。PBL研究
未定		
未定		

(4) 校内SPH運営委員会

氏名	職名	役割分担・担当教科
薄井 康央	校長	SPH運営委員
河野 健一	教頭	SPH運営委員
吉沢 規至	教頭 (定時制)	SPH運営委員
吉岡 和久	教諭	SPH運営委員・SPH推進主任・商業 (主任)
五味 仁美	教諭	SPH運営委員・家庭 (主任)
奥村 達朗	教諭	SPH運営委員・英語
阿部 秀幸	教諭	SPH運営委員・理科
矢澤 正章	教諭	SPH運営委員・理科

市川 浩	事務長	S P H運営委員
清水 幸彦	事務長補佐	S P H運営委員

(5) 校内における体制図



6. 研究内容別実施時期

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
伝統的文化や伝統的産業の魅力の理解 「ビジネス情報」「生活産業基礎」 「地理A」			講義 「京都型ビジネス」 講義 「諏訪伝統のおもてなし」	講義 「諏訪の信仰と諏訪大+祭御柱の歴史」	「諏訪実証」 「エッセ」	講義 「諏訪の文化と商品開発」	講義 「地域商品の開発」	講義のまとめ プレゼンテーション資料作成指導	諏訪タウンにおいて「伝統的文化や伝統的産業の魅力」の発表			
「文化ビジネス」への取り組み 「商品開発」			講義 「付加価値を付けられるパッケージデザインとは」	講義 「アイデアの出し方」	視察 岡谷蚕糸博物館	実習 「コンサルタントの業務と課題解決の手法」	講義 「地域産業の地域を巻き込んだ取組」	「文化ビジネス」のまとめ 発表準備	諏実タウンにおいて「文化ビジネスコンペティション」実施			
「文化ビジネス」への取り組み 「財務会計Ⅰ」					講義 「企業の財務諸表の見方」	模擬株式会社の経営を検証する	地元企業の財務諸表から経営を考える					
「文化ビジネス」への取り組み 「ビジネス情報」				文化ビジネスとして紹介できる「伝統的文化」「地域産業」「地域の観光地」を探し、ホームページに掲載								
「文化ビジネス」への取り組み 「生活産業基礎」			諏訪地方の産業と観光の関わりについて学ぶ		諏訪地方の文化と商品の現状を学ぶ。		諏訪の伝統文化を学ぶ。		視察駒ヶ根シカミュージアム・久保田織染 日暮里織維街リサーチ		NAGANO デザインフェスタ	
「文化ビジネス」への取り組み 「ファッション造形」							岡学園トータルデザインアカデミー作品展視察				演習「浴衣着付け講習会」	

「文化ビジネス」への取り組み 「CGデザイン」				本校開発商品と地域産業、地域特産品、地域のイベントのポスター やロゴデザインを考案								
「文化ビジネス」への取り組み				京都視察								
「文化ビジネス」のプロデュース 商業科・会計情報科「課題研究」				講義 「地域特 性の紹介 方法とホ ビコレイ ド」	韓国視察	講義 「地域特 性の紹介 方法とホ ビコレイ ド」			諏実タウン	課題研究 発表会 学習成果 発表会へ の展示		
「文化ビジネス」のプロデュース 服飾科「課題研究」		演習「フォ ーヤング 講習 会」		ファッション ショー	韓国視察				諏実タウン への展示	学習成果 発表会	NAGANO デザインフェ スタ	
文化ビジネスプロジェクトの専門 家の取り組み 服飾「ファッションデザイン」				演習「デ ザイン画 講座」			岡学園ト ータルデザ インアカデ ミー作品展 視察	演習「色彩 検定対策講 座」			NAGANO デザインフェ スタ	
「文化ビジネス」のプロデュース 商業科「マーケティング」		講義 「地域の 特性を活 かしたマ ーケティング 戦略」	講義 「ネット を通じた 情報発信 の方法」	販売実習 (国際展示 場) 実習 「ビズネ スにおけ る交渉と 販売実演」	販売実習 (伊勢丹立 川店)	講義 「下諏訪宿 活性化に向 けた取り組 み」	実習 「下諏訪宿 の集客提 げた取り組 み」					
「文化ビジネス」のプロデュース 商業科「電子商取引」		諏訪や長 野県内各 地の伝統 文化や伝 統産業を 調査す る。	講義 「電子商 取引にお ける効果 的な宣伝 広告の方 法」	諏訪地域 の観光地 や文化等 について、 諏訪の 魅力を 発信する コンテン ツの作成		実習 ホームページ作成・公開						
英語コミュニケーション能力の向 上 「コミュニケーション英語Ⅰ」 「コミュニケーション英語Ⅱ」 「イングリッシュアライヴB」				全商英検2級・3級・4級の受験に向けた指導								

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
なし				

8. 知的財産権の帰属

- () 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。
 (○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・無

II 委託事業経費
別紙1に記載

III 事業連絡窓口等
別紙2に記載